



角力会

三



如年
玉為文庫

席

及者評判ハ毎本ありて
學者ハ評判多ク其の評
万物評判世小多ク
然レ角力評判も多ク
且レ角力と云ふものあり
同ノ友を以テ同ノ位階
評判と云ふも元よりそれ
あり評をさしめりとの

庭びよながすとやん
みくもてすほふ位
くそ角カ合とやのすけ
粹小ちりたあ好人よ
あふんとあういよ

寛政五毛春

白未子述

関取評判位附

七三月三日力

江戸方

上吉	上吉	上吉	上吉	上吉	上吉	上吉	上吉
滝音堂	関戸八郎治	達蘭林齋	冲津風梳齋	越戸濱左門	錦木塚右門	谷風梳之助	暴義

上上書 秀山博治郎
 上上書 荒熊峯左衛門
 上上書 阿模嶽左衛門
 上上書 獅子洞松平
 上上書 吾峯辰左衛門
 上上書 熊嶽多八
 上上書 東嶽林左衛門

西國方

上上書 雷霆為齋
 上上書 玉垣額左助
 上上書 和田原甚四郎

上上書 熊山庄兵衛
 上上書 出羽海運齋
 上上書 鶴渡園左衛門
 上上書 常山五郎左衛門
 上上書 岩根國左衛門
 上上書 泉川林齋
 上上書 千田川条七
 上上書 鳴滝文大夫
 上上書 箱妻咲右衛門

此段角力、不審、八國、九、八、七、
 三、在、右、八、國、五、中、評、判、

谷風梶之助

此人初達南島なり天明六年分
三ヶ月暮甘小大実と名おき同
八年大坂南カが初ておき 小作
小おきこおき一丸大園と後
此人よつてく園か一安永六年今
の名政寛政元々江戶南カ小目
空舟様保といふと吉田氏も南カ
乃の岡山なり

綿木塚考

天明三春江戶へ遣り上着たを
け長も園なり

冬今の名政は...
寛政二戌大垣へ園...
秋仙臺...
此大...
世...
なり

越戸濱考

天明...
同七年...
同...
同...

津波風梶考

安永...
明...

改方と改ははを法々同化小の川に
種て得利同七又元の権方改方
去方より久くわくか

達方改方

公風計やく安永七去初て秀山
とてお天明六とる國知とる角力
中比今人の多改去美八改也入

國戸八島法

安永七去意海とて初てお同九五年
大改初てとる安永と改天明二五戸
角力や島人の急改同八年かを法

滝音字字

天明六去改角力島有改同九五年
しつ改くお世して二改先
ころちとるり改同のき、
この末よめりし

秀山修治部

天明八春か初て安改三おより
國知とる改改とけ八日改のき
りあり

意能筆方

安永六年健あつ活とてお同七年
今の名と改天明六分國知と改
志の法と改改とるり改改改

西国方

雷電の事

寛政元为大坂角力ノ不結ト多事
お石か同二ノ江戸角力ノ大園と
五月九日同キ寛政元ノ神楽
の園お石ノ神楽ノお石ノ公儀ノ法ノ
此度大儀ノ公儀ノ公儀ノ公儀ノ
寛政の江戸方ノ寛政ノ江戸方ノ

玉垣額と物

寛政七年江戸方ノ大園ノ法ノ
とて神ノお石ノお石ノお石ノ
改ノ由ノ方ノ大園ノと成ノ初ノより
去ノ後ノ一ノ寛政ノ三ノ江戸角力ノ

お石ノお石ノお石ノお石ノ
別ノ今ノ名ノゆノりノ史ノ

和名

寛政七年江戸角力ノお石ノお石ノ
一ノお石ノお石ノお石ノお石ノ
成ノ寛政ノ元ノお石ノお石ノ
江戸角力ノ寛政ノ元ノ

徳山

天明七年江戸角力ノお石ノお石ノ
お石ノお石ノお石ノお石ノ
同二ノ寛政ノ元ノお石ノお石ノ
改ノ名ノお石ノお石ノ

出羽海運志

安永六年八月天明二年系の安永と
成り初め今名知といふ一町の増利なり
一々を改てしつゝ一町一安改
云々今の名不改

鶴渡園志

備前国備前郡備前町備前大園
少くは備前定志より大男加勢所
と改名

常山名考

寛政二年温海縣とて初て曰く其
少くは備前定志より大男加勢所
と改名

山名考

田舎修訂して天明八年係の安改

二江よりトリ園と成り安改のき

安永川林志

安永七年古郡今名泉とて安改
安永七年古郡今名泉とて安改
安永七年古郡今名泉とて安改
安永七年古郡今名泉とて安改
安永七年古郡今名泉とて安改

鳴滝文考

天明八年系八段上園とて安改
と成り同今名改

稲妻山志

初新迦嶽後大高嶽といふ人の
計より安永六年山名考と

以天嗣六宮... 成以比法... 八
之後定政之今名政之即... 略政

○近代名馬主人

宣政二年戊戌六月大坂宮修

臣馬山公命

宣政二年壬寅九月七日自

無月四十六

九國山新

同辛丑月廿七日

高川能

同辛丑九月十七日

相

宣政二年七月吉日



